

防災サポーター養成講座

今世紀前半の発生が予想されている南海地震対策として、本年も防災サポーター養成講座（全3講座）が開催され、19名の方が全過程を修了されました。

この講座は、災害や防災対策について、一定の知識と技術を有する人材を育成

することで、災害の被害を軽減し、被災後の地域の維持・継続を図ることを目的に行われています。

第1講座

自分たちの暮らしている地域はどんな場所か、何が起こりうるのかなどを高校大学農学部の大牟邦雄教授



大牟教授による防災講座（第1講座）

第2講座

普通救命講習として、黒潮消防署員より救命に関する知識と技能を学び行動できるよう、心肺蘇生法とAEDの操作について学びました。

第3講座

防災気象講習として、高知地方気象台の出羽教雄さんを講師に、日頃起こりやすい台風や大雨といった風水害、また地震による津波の被害などについて学び、午後からは、火災や災害時に地域ですべき対応を学び、できることを増やすため、応急処置訓練として三角巾などを使用して止血する応



AEDを使用した心肺蘇生法を学ぶ受講者たち（第2講座）

急手当や担架での搬送法を学びました。

その後、バケツリレーや消火器を使用した消火訓練、煙体験セットを使用して、煙が充満した建物の中の視界などを実際に体験しました。

南海地震では、さまざまな被害が予想されますが、一人ひとりの備えが大きな効果を生み、備える人を増やすことで安心して暮らせる地域社会になるのではないのでしょうか。

災害時に各地域で活動できる知識を持った人材を増やし、南海地震などの災害から教訓を継承していくことは自主防災組織の活動にもつながります。

皆さんも次の機会にはぜひご参加いただき、災害に向き合える、災害に強いまちづくりを目指しましょう。

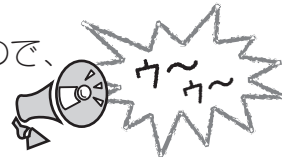


バケツリレーで消火活動（第3講座）

知っていますか？ 黒潮町のサイレンパターン

火災や津波など災害の発生や、台風・大雨の時などに避難の必要が明らかに高まった場合には、防災行政無線や消防屯所からサイレン音や音声放送により広く周知をしています。

町内で鳴らされるサイレンは、以下のような意味がありますので、知っておきましょう。



黒潮町サイレンパターン

種別	吹鳴(秒)	休止(秒)	回数	種別	吹鳴(秒)	休止(秒)	回数
建物火災	5	5	5	火災警報	20	5	2
山林火災	10	5	3	津波警報	20	5	3
招集	8	5	2	避難	20	5	4
鎮火	20	—	1	試験	3	—	1

●このページの記事に関するお問い合わせは、以下にお願いします。

【本庁】総務課 消防防災係 ☎43-2112(直通) 【佐賀総合支所】総務課 総務係 ☎55-3113(直通)